

キャラクター名
ファントムペイン

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ノイマン	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	研究員
オプション	ソラリス	年齢	不詳	性別	♂
覚醒	償い	衝動	憎悪	初期侵食率	36%
出自	義理の両親	経験	隠蔽工作	邂逅	秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	1	0			1	行動値	9
感覚	1	0	1			2	(非装備時)	9
精神	4	0	1			5	戦闘移動	14
社会	3	0	1			4	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 裏社会		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
君たちの力はそんなものかな?	RC	5r	0	0		要+華+アド。対象3体。対象の判定値+4、C値-1、ダイス+4個
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ: UGN					
コネ: 情報屋					
コネ: 要人への貸し					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費	
記憶探索者<メモリーダイバー>	P 幸福感	N 悔悟			
ファントムペイン	P 遺志	N 不安			
(昇華) グレイファントム	P 有為	N 脅威			
ケット・シー	P 庇護	N 不快感			
(昇華) ジャガーノート	P 有為	N 不快感			
月夜野君	P 庇護	N 不安			
キング	P 連帯感	N 不信感			
最大財産P:	10	残り財産P:	7		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
要の陣形	1	3	Xジャー	-	3体	-	-	
効果:	行動の対象を3体に変更。LV回/シナリオ。							
導きの華	2	4	Xジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	対象が次に行うメジャーの判定達成値+[LV*2]。購入判定不可。							
アドヴァイス	4	4	Xジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	対象が次に行うメジャーの判定のC値を-1、ダイス+[LV]個							
ジャミング	2	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	対象が判定を行う直前に使用。判定ダイス-[LV]個。1回/1R。							
力の霊水	1	4	オート	視界	単体	自動	80%	
効果:	対象が行うダメージロールの直前に使用。ダメージ+(LV)D。自分不可。1回/ラウンド。							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ムーンレスナイト「Gray Phantom」用
「コードネームはファントムペイン。ああ、名前？名前は特に定まっていな。好きに呼ぶといい」

数カ月前まで浜茄子市支部の支部長の姿は公にはされていなかった。コードネームだけが唯一の情報で、シンドロームも実在しているのかも不明。また、支部そのものも情報が隠蔽されていた。所属しているメンバーも曖昧にぼかさね規模すら不明。都市の規模から考えるとそう大きくはないだろうと思われていたが、確証はなかった。情報があまりにもないためFHの隠れ蓑なのではと噂されたこともあったが、ある時状況が一変する。浜茄子市あるいは周辺の都市で一般人が大勢ジャーム化し暴れたぞという事態が発生。この事件そのものは滞りなく解決し、多数の犠牲は出たものの街はまた平穏へと戻っていった。その直後からだ、ファントムペインが姿を表し始めたのは。彼曰く、「大きな事件も起きてしまったのに、無責任に姿を眩ませていたら支部長の座を下ろされてしまうかもしれないからね」とのこと。しかしやり取りのあった他の支部の支部長などは、彼はきっと以前の「ファントムペイン」ではないのだろうと感付いていると思われる。浜茄子市支部から異動になったエージェントやチルドレンもいるが、彼らも以前の浜茄子市支部の内情を詳しく知らない可能性が高い。

僕／君。丁寧な言葉で話し物腰は柔らか。にこやかに毒を吐くが本人は毒とは思っていない。支部であり研究所でもある浜茄子市支部で、ジャームの研究を行っている。そのためにジャームを集め実験に使用しているが、まだ成果はほとんど得られていない。ジャームを冷凍保管している支部のことを生温いと感じているが、直接口に出すことはなく、またそれを「悪いこと」とは認識していない。何故なら自分もまた、1体のジャームを秘密裏に保管しているからだ。彼の研究目的はこのジャームを――浜茄子市支部前支部長を元に戻すことである。そのための犠牲は厭わない。

支部に出入りしている猫たちが情報のやり取りをガンガンやっていることを知ってはいるが、今更隠すことも特にないと放っている。